

DATEntre

東北イノベーション人材育成コンソーシアム参画機関

 東北大学(事務局)
  宮城学院女子大学

 東北工業大学
  東北学院大学

 宮城県
  仙台市

 東北経済連合会
  宮城県中小企業団体中央会

 仙台商工会議所
  東北大学校友会

DATEntre

東北イノベーション人材育成コンソーシアム事務局

(東北大学高等教養教育・学生支援機構キャリア支援センター内)

〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

[TEL] 022-795-4994・4995

[E-mail] datentre@grp.tohoku.ac.jp

[HP] <https://datentre.ihe.tohoku.ac.jp/>



DATEntre

東北イノベーション人材育成 プログラム平成30年度報告



就職を希望する留学生を応援 & 育成

東北イノベーション人材育成コンソーシアム

Tohoku Innovation Human Resources Development Consortium

文部科学省留学生就職促進プログラム

宮城県で就職した 外国人 留学生の先輩 働くイチ面

自分史上一番輝く今。
自分のキャリアや人生の
やりがいを見つめ、
多面的に進化する留学生の先輩。
職場で輝く、宮城県で就職した
先輩の仕事のイチ面に迫ります。



東北大学OG
CASE-01



株式会社 七十七銀行
市場国際部 国際業務課

リュウ ウ ネイ
劉 于寧さん

Profile

台湾出身。大学時代は国際貿易を専攻。2008年7月～8月日本(東京)に短期留学、その後2009年7月～8月カナダに短期留学。2010年にイギリスのスタンダードチャータード銀行台湾支部にてインターンシップに参加。2011年10月～2012年1月に東北大学交換留学生として再び日本へ。その間、サークル「FASHION DESIGN」を創立。海外インターンシップ事業を運営する世界最大級の大学生組織であるAIESECの台湾支部にも在籍する。その後2014年東北大学会計大学院入学、2016年同大学院修了。2016年に七十七銀行へ入行し、2017年12月までアジアビジネス支援室に所属。現在は国際業務課に所属。

仕事=自信 職場は自分の価値を発揮できる場所

働く イチ面

七十七銀行で初の留学生採用となった劉さん。入行4年目の現在は、大学・大学院時代、そして留学やインターンシップで培った経験を活かし国際業務課で活躍中。

休日の イチ面

学ぶことが大好きで「分からないことがあると我慢できない性格」と話す劉さん。最近は仕事でも関わる海外の文化をより深く学ぶため、資格取得の勉強をしているのだそう。「後悔しない人生」をモットーにエネルギーに突き進んでいる。



業務に進化する劉さん。留学生仲間の向さんと情報交換することも。

現在の業務内容、 業務の魅力とは

現在は大学院時代に学んだ会計知識を活かし、主に国際部門の決算業務のとりまとめを行っています。また、海外ビジネス支援、外国送金、貿易決済などのコレレス業務、業務効率化のための提携作業の自動化や複数システム間を連携するRPA(Robotic Process Automation)の設定などを担当しています。

業務の魅力は、学んできた語学力や国際貿易、会計の知識を活かせる点ですね。現在の業務を早めに理解することができるので達成感にも繋がります。



日本、宮城県での 就職を考えるようになった きっかけとは

実は日本での就職を考えたことはなかったのですが、東日本大震災が1つのきっかけになりました。東北大学の交換留学のため日本へ向かう準備をしていた1週間前に震災が起こり日本へ向かう飛行機も飛ばない状況になって。台湾のニュースでも大きく取り上げられていて、今でもはっきり覚えています。このことがきっかけで、人のために自分にできることをしたい気持ちが膨らみ、大学卒業前でも母国の大学の先生にご心配をおかけしながらも日本に行くことと決めました。ニュースでは当時の悲惨な状況ばかりが流れますが、日本は元気で頑張っている。それを外国人の視点から母国に伝えたい気持ちもありましたね。

日本の中でも宮城に就職を決めたきっかけは、宮城の環境が好きだからです。宮城に来る前に短期留学で東京に来ていたのですが、宮城はまるでお家に帰ってきたかのような落ちつける感覚があって。住みやすさを含めて、宮城での就職を考えるようになりました。

現在の企業を選んだ理由

震災がきっかけで海外展開を考える企業が増える中、その助けになりたかったことがきっかけです。そんな折に七十七銀行の説明会に参加したところ、私が興味を抱いていた内容に合致し、共感したためここでの就職を決めました。

「働く環境」という点で、 母国との違いとは

一言で表すなら、台湾はアメリカンスタイル & 個人主義を強く感じます。社員一人一人の意見を大事にしているなあと感じますね。日本はチームワーク & 上下関係を重視しているように感じます。業務の進捗を報告・相談する「ホウレンソウ」は初めての経験でした。

大学で学んだことで 現在の業務に役立っている ことは

大きく分けて3つあると思っています。1つ目は大学時代に培った語学力です。入行後は周囲の行員から中国語や英語についての相談を受けることも多いです。2つ目は貿易知識、3つ目は会計知識ですね。

留学生にとって 地方銀行で働く魅力とは

外国人の視点で知識をインプット・アウトプットすることで発見や気づきが活かせる点、そして地域への貢献ですね。私の場合は母国語である中国語と留学などを通して学んだ英語の語学力を活かした働き方ができるので、得意分野を活かせるのも魅力の1つです。また、業務内容として、個人から法人までの様々なお客さまとの取引を経験できることです。地方銀行は地域貢献ができる点が魅力だと思うので、やりがいを感じて働くことができます。私自身、東日本大震災の後に宮城県への就職を決めたこともあり、震災で被害にあった企業さまの海外展開をサポートしたい気持ちがありました。

日本に就職し 困難だったことは

「外国人といえ英語ができる」というイメージが強かったことでしょうか(笑)。英語も勉強していましたが、英語と日本語の翻訳を頼まれた時はちょっと焦りました。翻訳は文章を訳すだけではなくその国の文化を理解していないと表現できない面もあるので…。

10年後の自分は どうなっていたい?

具体的なビジョンは現在進行形で固めている最中ですが、働くことを通じて学んでいることを活かして社会に貢献できる仕事をしていきたいと思っています。

宮城県のお気に入り Point

食べ物がおいしくて自然が豊かなところですね!お酒も好きなので日本酒もチェックしています。あとは組み合わせるとおいしいおつまみも(笑)。おススメを見つけたら友人や家族にも教えます。台湾の家族を日本に呼んだ時には、蔵王の温泉にも連れて行きました。魅力的なスポットが多いと思います。また、台湾は雪がほとんどないので、こっちに来て雪を見かけた時には子どもみたいに遊びましたね(笑)。



就職を考える後輩への アドバイス

心の覚悟ですね。学生気分を早く脱ぎ去ることが大事だと思います。教えてもらうのは当たり前ではないので、指示を待つのではなく、自分から周りを観察してやれることにどんどんチャレンジ出来ると素敵だと思います。

一緒に働く仲間としての魅力

明るくて快活。語学力が堪能な劉さんはとても頼れる仲間です。勉強熱心で外国人という壁を感じさせず、様々な業務に積極的に携わってくれています。コミュニケーションの取り方においては、日常生活のものとビジネスや企業文化によるものとの違いがあるので、これに慣れてもらえるよう私たちが意識しています。仕事面では Yes・No をはっきり伝えて欲しいと言われるので、それは私たちが指示を出す側も意識させられる部分ですね。劉さんには引き続き、海外進出を目指すお客さまを応援する力になっていただき、留学生が活躍できる企業像をこれから一緒に作り上げていきたいですね。



株式会社 七十七銀行
市場国際部 国際業務課
課長 野村 敦さん

DATEntre 東北イノベーション 人材育成プログラムとは

日本での就職を希望する外国人留学生を対象とし、地域に根付いた産学官のコンソーシアムを通じ、これからの日本経済の発展を牽引する、即戦力人材の育成を目指すプログラムです。最先端の専門教育に加えて、ビジネス日本語・キャリア開発・課題解決型研修、インターンシップ等を通して高度イノベーション即戦力人材の育成を図ることを目的としています。

また、留学生の多様なキャリア・パス志向に柔軟に対応する3つのキャリア育成コースと、起案件数全国2位を誇る仙台の人的・物的資源を最大限に活用したネットワークの構築により、産学官の強固な連携「東北イノベーション人材育成コンソーシアム」の下、卒業後直ちに即戦力として活躍出来るグローバル人材を育成するプログラムでもあります。

在学中にビジネス日本語を集中的に学び、地元の若手起業家や中小企業の経営者との協働プロジェクトに参加、またインターンシップに携わることで、生きたビジネス日本語や企業文化を体得します。高度な専門知識、日本語運用能力、日本の文化への深い理解、協調性、行動力を有し日本でのキャリア形成に関心を持つ外国人留学生と、東北地方の企業を結びつける人的資源活用のイノベーションを進めます。

地産ビジネスで宮城・仙台を飛躍的に発展させた伊達 (DATE) 政宗公の起業家精神 (Entrepreneurship) と「門戸開放」「実学主義」を基盤とした実践型のプログラムで、世界各国から集う優秀な外国人留学生を広く受け入れ、地域経済の発展を牽引する即戦力人材の育成を目指します。



対象 日本語能力試験 SPOT90 で 65 以上のスコアを持ち、日本でのキャリア形成を考えている東北大学、宮城学院女子大学、東北工業大学、東北学院大学に正規生として在籍している外国人留学生。

内容 ビジネス日本語、国際共修・課題解決型演習 (PBL)、インターンシップ、キャリア教育

日本で就職に必要な能力を伸ばす + 留学生の多様なキャリア志向に合わせた3つのキャリア育成コースの設定

日本人学生との共有やベア・インターンシップの実施 独自のメンター制度の活用
他にはないユニークな留学生就職促進プログラムに

(参考)東北大学において就職を希望する外国人留学生アンケート

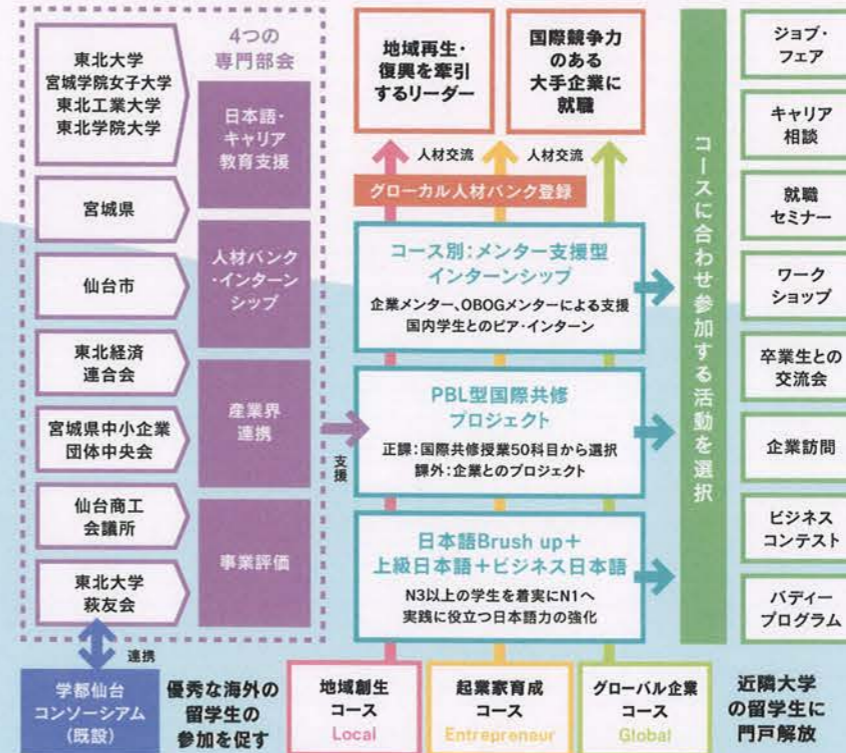


日常生活において日本語を使用すると回答した学生では「日本で就職」(34.9%)と最も多く、英語を使用すると回答した学生では「母国またはその他の国で就職」(27.4%)が最も多く、「日本での就職」は10.5%にとどまった。

※2016年 東北大学留学生生活調査まとめより引用

東北イノベーション人材育成プログラム

人材育成の縦のつながりを強化しサステナブルな支援体制の確立へ



東北経済の活性化・国際化/頭脳「蓄積」で復興促進/卒業生・就職内定を有効活用

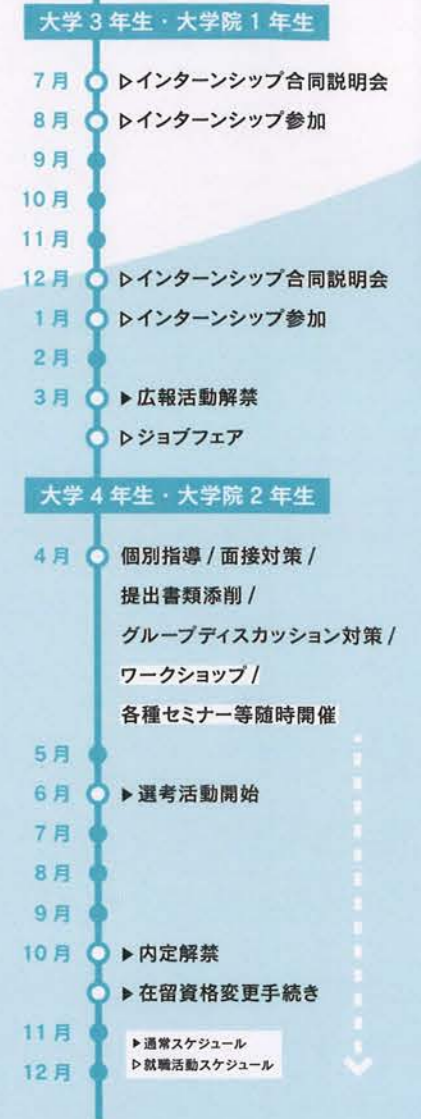
「日本語・キャリア教育」科目 「国際共修・PBL」科目 「インターンシップ」科目

「日本語・キャリア教育」科目
ビジネスレベルの日本語の習得、日本企業文化・組織文化への理解を深め、日本企業での就職活動に備えます。日本での就職活動においてはエントリーシートの記入や面接など、日本語でのコミュニケーション能力が求められています。

「国際共修・PBL」科目
企業の抱える課題について、ワーク等を通じて日本人学生と共に課題解決に取り組むことで、お互いの異なる考え方・価値観を学びます。日本での就職活動時に情報交換することのできる、日本人の友人を増やす絶好の機会でもあります。

「インターンシップ」科目
ビジネスマナーや目標設定など、事前指導をしっかり行った後、企業での就業体験、事後の振り返りを通じ、日本で働くことやライフキャリアについて理解を深めていきます。

就職活動スケジュール



DATEntre プログラム生の特典

1. プログラム生向け 学習奨励費
2. JEES奨学金
3. 個別相談枠の確保
4. 就職セミナーの開催

積極的に参加して、不安点や疑問点を洗い出すと将来像がスッキリするよ!

【左】 大手IT企業内定

エキ カジンさん

東北大学大学院 文学研究科修士 (2019年3月)

【右】 大手金融機関内定

BYUN JUNHOさん

東北大学 経済学部卒業 (2019年3月)

